

2017年上半期(1~6月)に、全国の警察から児童相談所への児童虐待の通告数が、初めて3万人を超えました。最も多かったのは、心理的虐待の一つで、子どもの目の前で親が配偶者に暴力を

ふるう「面前DV(ドメステ

面前DV急増

イック・バイオレンス)でした。心理的虐待には、面前DVのほか①大声や脅しなどで恐怖に陥れる②無視や拒否的な態度を取る③著しくききょうだいたい間差別をする④自尊心を傷つけ

る言葉を繰り返し浴びせる——などが主な形態です。

面前DVは2004年に改正された児童虐待防止法で、心理的虐待と認定され、統計を取り始めた12年上半期は2434人で、5年で5倍以上増えました。

通告件数が増加した要因として、「児童虐待への意識が高まり、警察への通報が増えた」ことがあげられています。

防犯一口メモ